

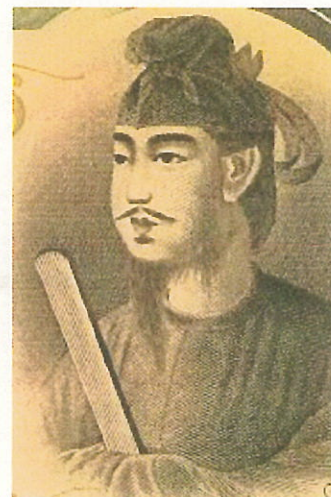
学校給食週間 1月23日

今日の献立

古代米ごはん 牛乳

飛鳥鍋

めざし くるみあえ



聖徳太子

(しょうとくたいし)

飛鳥時代の皇族、政治家
飛鳥地方は現在の奈良県

聖徳太子は、日本のためにいろいろなことをしたといわれています。外国と対等に付き合うために「遣隋使」という人たちを中国に送ったり、能力がある人が政治を行えるように「冠位12階」や「17条の憲法」という制度を作りました。一度に10人のひとが話すことを理解できたという話も残っています。これまでに7種類のお札の肖像になっていることから、日本の歴史の中で重要な人物といえますね。

遣隋使が中国から箸を持ち帰り、箸を使うことが日本に広まったという説もあります。

古代米（黒米）



飛鳥鍋

飛鳥時代の位の高い人たちの食事は一日二回で、主に古代米、豆、木の実、魚などを食べていたそうです。古代米とは赤、黒、緑などの色がついた米で、生命力が強いといわれます。牛乳を煮詰めて作る「蘇」というチーズのようなものも、当時は高価なもので、位が高い人たちの間で食べられていました。今日は牛乳を使った「飛鳥鍋」です。聖徳太子も食べていたかもしれませんね。